

第 38 回フローインジェクション分析講演会開催記
機能材料研究所 喜納 兼勇

第 36 回 FIA 講演会は 1999 年 11 月 27 日に山根兵実行委員長のお世話で山梨大学工学部において開催された。その講演会の休憩時間に来年は 2000 年の節目でもあるし、沖縄で開催して欲しいとの要望が数名の委員の先生から筆者に寄せられた。九州・沖縄サミットが 7 月下旬にあり、その後であれば混雑を避けての開催が可能と判断し、微力ながら引受けることとした。

日時の決定には、本水先生に相談した。日露分析化学シンポジウム (8 月)、さらに 9 月の岡山大学での分析化学会 49 年会のあと 12 月には PACIFICHEM2000(ハワイ)と日程がかなり窮屈であり、11 月初め頃が適当という事になった。

第 37 回 FIA 講演会は SS2000 と合同で 6 月に開催されるので、沖縄での講演会は第 38 回となる。ところで、11 月は台風シーズンに入っており、航空便の欠航が無いことを祈るだけだった。離島での開催の難しさは人手の面だけでなく、この様なところにもある。せっかく沖縄で開催するからには眺めのよい会場で宿泊も共にすることで、密度の濃い講演会ができそうと考え、本島南部の高台にある「厚生年金休暇センター」や中部のトロピカルビーチにある「沖縄ハイツ」などを講演会場として検討してみた。

11 月の繁忙期には県外からも 2 年前より会議場の予約が入っていた。観光地沖縄での会場確保の難しさを感じた。結局のところ琉球大学・大学会館を利用することにした、ポスターセッションのパネルや、受賞講演に使う液晶プロジェクターも備わっていて、結果的に良い選定だったと思っている。大学職員の使用であれば、クーラー使用料、マイク使用料などを含めて、2 日

間の会場費が 1 万数千円というのは、市内の会場では考えられない格安であった。さっそく年度始めに、理学部の与儀教授にも世話人の一人になって頂き、利用申込みをした。

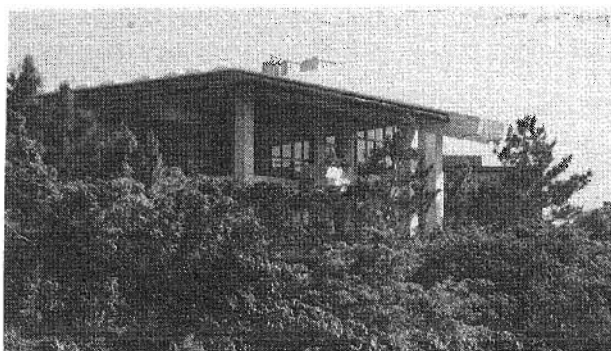


写真 1. 「会場となった琉球大学・大学会館」

次に、果たしてどれだけの人が参加するだろうかということであった。北海道から沖縄に至るまでの全国規模で 65 名もの参加があり、予想以上の盛会となった。講演は口頭発表 22 件、特別講演 1 件、学術賞受賞講演 3 件、ポスター発表は飛び入り 2 件も含めて 16 件にのぼった。



写真 2. 本水委員長による挨拶

プログラムは午前中の部では「インライン前濃縮-原子スペクトル分析法の比較検討」(千葉大工、小熊先生)の発表を始めとし、検出装置の改良や滴定法の発表があり、午後の部では酵素利用 FIA、化学発光、電気化学検出法などの多彩な発表がなされた。昼食時間を 2 時間に長く取り、ポスター発表も同時に行うことにした。

表彰式では次の方々に 2000 年度の各賞が贈られた。「フロー分析法における新規検出系の開発」(都立大院工) 保母敏行君、「フローインジェクション分析法の高機能化に関する研究」(愛知工大) 酒井忠雄君、「滴定分析法の迅速化と連続化のためのフローインジェクション分析法の開発」(九大工院) 今任稔彦君の 3 氏に学術賞、「フローインジェクション用検出器及び関連機器の開発」(相馬光学) 浦 信夫君に技術開発賞、「高活性酸化還元試薬の発生過程及びこれを用いる前処理過程を導入した FIA の研究」(徳島大薬) 田中秀治君、「新規化学発光反応系を利用するフローインジェクション分析」(都立大院工) 林 金明君の 2 氏に進歩賞が贈られた。記念品には琉球漆器を用意した。あらためてお祝い申し上げたい。懇親会は大学会館二階の「レストランうりづん」で行った。開会に当たって、前琉大学長の桂 幸昭先生(広島大学・品川研出身)に大学の紹介と歓迎の挨拶をして頂いた。次いで、ビールで乾杯し、懇親会をスタートした。久場料理長が腕をふるった琉球料理は食材の珍しさもあって好評であった。量・味の両面で十分ご満足いただけたものと思う。沖縄の地ビール「オリオン」100 本、泡盛は「久米島の久米仙」三本がすべて消費しつくされた。

本学術講演会での展示会、要旨集広告を通じて、エフ・アイ・エー機器、鋼管計測、サヌキ工業、相馬光学、東京化成工業、森山商事(那覇市)の各社には財政面で多大のご支援を頂いた。日本分析化学会九州支部からの共催金もありがたかった。運営の実務面では、理学部与儀研究室の学生諸君に前日の会場設営、当日の受付、時計係りから後片付けまでやっていただき、筆者一人ではとてもできない事であった。ここに心より感謝申し上げる次第である。なお、講演要旨集に残部があるので、ご希望の方は岡山大学理学部分析化学教室へお申込み下さい。



写真 3. 受付・会計を担当した与儀研究室のメンバー

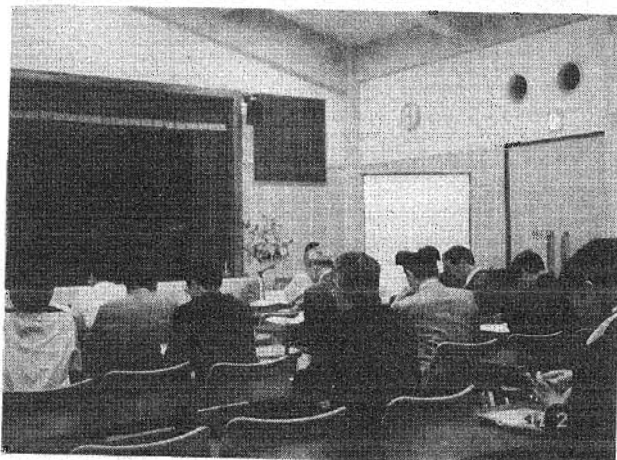


写真 4. 講演会場



写真 5. 受賞者を囲んでの懇親会